

デジタル技術を活用した 民間事業者との地域づくり

～山口県山口市阿東地区の取り組み～

NPO法人ほほえみの郷トイトイ 事務局長 高田新一郎

高田 新一郎

Shinichirou Takata



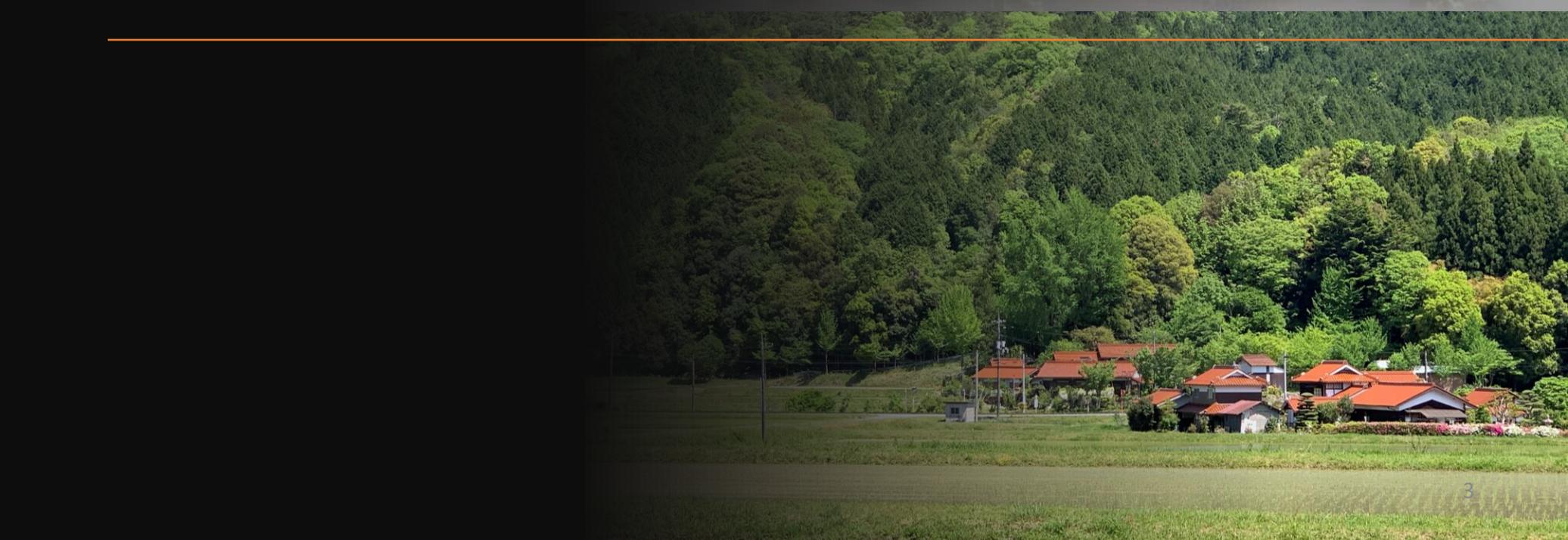
特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ
副理事長兼事務局長

2012年 山口県山口市阿東地福地域において
「地域の絆でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり」をキャッチフレーズにした
地域の将来構想「地福ほほえみの郷構想」を提案
地域拠点ほほえみの郷トイトイを核にした、住民主体の課題解決のしくみづくりをスタート
地域ニーズをもとにした課題解決のための事業構築に取り組みソーシャルビジネスとして確立す
ることで持続可能な地域運営を目指している。
2022年度より、地域の持続可能性を高めるための新たな取り組みとして、地域のリ・デザインプ
ロジェクトをスタート、新たなチャレンジを始めている。

山口市阿東地域とは？

山口市の北東部に位置する阿東地福地域は平均標高300m前後の地域で夏場は涼しく、冬場は積雪のある山間部に位置している。

阿東地域の人口は約4800名、世帯数は約2400世帯であり高齢化率は約59%で少子高齢化や人口減少が進んでいる。



住み慣れた地域で暮らし続けることのできるコミュニティづくり

→ 地域の持続可能性を高める

健康に年を重ねる介護予防



生活機能の確保
コミュニティの形成



地域モビリティの構築



食の確保
活躍の場の提供



子どもたちの体験

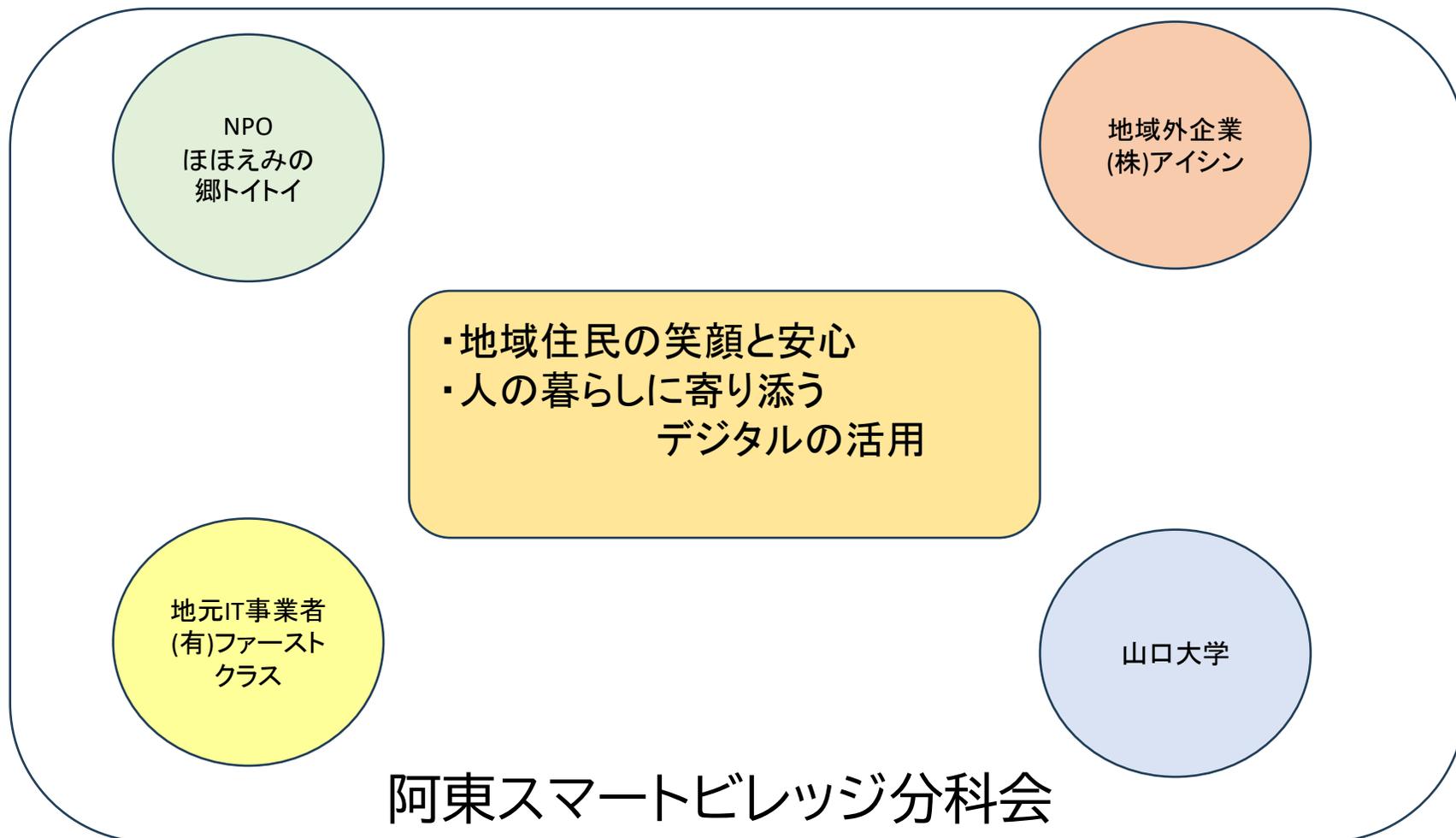
野菜の集荷



阿東地域におけるデジタル技術の活用

- **地域住民の生活に寄り添う**
- **人口減少によるコミュニティの低下を補完する**
- **デジタルの活用ありきではなく人の暮らしを中心に考える**

民間事業者との連携





地元IT事業者との連携で開発・実証
トイトスイッチ



株式会社アイシンとの連携でスマートディスプレイを活用した情報伝達の実証

NPOほほえみの郷トイトイ・(有)ファーストクラス・(株)アイシン 協働での取り組み

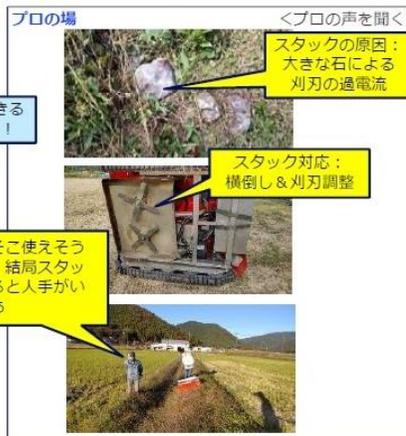
○地域のコミュニティを維持し高齢者を孤立化させないための実証

LPWA活用による地域情報(音声等)の伝達についての実証

○地域課題(草刈り)を解消するための実証

プロの場: 水田、堤防、やぶの現場でプロ監督のもと草刈り実施
⇒ 労力少ない所は理解されたが、スタックして人手が掛かる点と草刈り後の仕上がりを指摘する声あり
素人の場: 中学児童、障害者、未経験者(手刈り併用)に自ら探知してもらい草刈り体験実施
⇒ 真剣かつ楽しみながら自分でもできることを喜んでいた。中学校校長から是非、地域貢献できる教材として一緒に考えたいとの声をいただいた
他の場: 試乗会を実施。⇒ 大人も子供も自分でドライブでき楽しんでいた。相棒のようでかわいいとの声もあり

活躍の場: 地域の子供や障がい者の貢献の場
重要ポイント:
1) 不要な手間の排除 特にスタックしない制御
2) 子供たちと一緒に考えられる環境
3) 地域に受け入れられる運用



地域での暮らしの中で、課題やニーズを的確にとらえること
また地域での暮らしに人々が何を望んでいるかを把握することが
地域でのデジタル活用の第1歩だと考えます。
特に高齢者にはストレスなくデジタルの恩恵を受けてもらいながら
地域での暮らしの中に笑顔と安心が増え、地域での暮らしに希望と幸
せを感じてもらいたいと考えています。

